



イラストレーター。アニメーター。エッセイスト。宇摩郡別子山村(現、新居浜市)に生まれ、3歳のとき父の住友金属鉱山入社に伴い新居郡中萩村(現、新居浜市)に転居。愛媛県立新居浜西高等学校を経て、昭和29(1954)年、多摩美術大学を優秀な成績で卒業した。

大学在学中より、二紀会展や読売アンデパンダン展に出品し、卒業後には池田満寿夫、堀内康司らと昭和30(1955)年に結成したグループ「実在者」での個展で、社会風刺の強い作風の油彩を精力的に発表した。また、並行して漫画集・書籍の装丁・アニメーション・舞台美術と新たなジャンルにも挑戦した。種々の表現手段を経験した結果、真鍋は「絵」を通して社会との繋がりを持ちたいと確信し、社会と密着した印刷媒体を自身の表現として選んだ。昭和

35(1960)年、朝日ジャーナル連載の空想科学小説『第七地下壕』の挿絵で、第1回講談社さしえ賞を受賞し、これを契機に真鍋は1960年代ブームとなったSFやミステリー、「未来画」に欠かせないイラストレーターとなった。また、大阪万国博覧会や沖縄海洋博覧会、科学万博つくばなどにも参画した。

略歴

- 昭和7(1932)年 7月3日、愛媛県宇摩郡別子山村で生まれ、3歳から新居浜市に育つ。
- 昭和23(1948)年 愛媛県立新居浜西高等学校入学
- 昭和27(1952)年 第6回二紀会展に初出品
- 昭和29(1954)年 多摩美術大学絵画科卒業
- 昭和30(1955)年 池田満寿夫らとグループ「実在者」を結成
- 昭和35(1960)年 朝日ジャーナル連載「第七地下壕」で第1回講談社さしえ賞を受賞
- 昭和36(1961)年 久里洋二、柳原良平と「アニメーション三人の会」を結成、草月アートセンターで発表会
- 昭和39(1964)年 ニューヨーク世界博日本館にイラスト壁画を制作
- 昭和45(1970)年 日本万国博三菱未来館の起案に、星新一、福島正美と参加
万博開催記念たばこのパッケージデザインやガイドマップを手がける。
沖縄国際海洋博テーマ委員
- 昭和50(1975)年 作品集『真鍋博Original 1975』を講談社より刊行
- 昭和58(1983)年 テレビ愛知のロビーの壁画。科学万博三菱未来館の起案に参加、星新一との共著で「真鍋博のプラネタリウム」刊行
- 昭和60(1985)年 科学万博つくば'85プランニングスタッフを務める。
- 平成2(1990)年 アガサ・クリスティーシリーズ全85冊のカバーイラストを納めた小冊子を作る。

平成3(1991)年 筒井康隆の「朝日新聞」連載小説「朝のガスパール」全161回の挿絵
担当

平成11(1999)年 愛媛県教育文化賞受賞

平成12(2000)年 10月31日、がん性リンパ管症のため68歳で永眠

<関連図書>

- 愛媛放送『えひめ人 その風土』愛媛放送株式会社 1986年
- 愛媛県美術館編『真鍋博回顧展 イマジネーションの散歩道』愛媛県美術館
2001年
- 愛媛県美術館編『真鍋博作品目録』愛媛県美術館 2004年

<関連施設>

- 愛媛県美術館 〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 TEL:089-932-0010
- 愛媛県立図書館 〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 TEL:089-941-1441

(画像提供:愛媛県立図書館)

愛媛県生涯学習センター:TEL 089-963-2111(内線212)
掲載情報の無断転載を禁じます。